宇田川ゆきおのヒトツキ

考えていること、感じたこと…。

宇田川ゆきお県議は、ホームページのヒトツキというコーナーで毎月、折に触れて、考えていること、感じたことを連載しています。そのことを知った方の中から、どんなものなのか、ホームページではなく、紙面でも読んでみたいという声をいただいたので、紙面に併せて一部を編集し、転載します。なお、オリジナルは https://udagawayukio.com/ でご覧いただけます。

企業価値の「のれん」を政治にも

〈ヒトツキ 令和4年1月 掲載〉

私は、起業支援や産業育成の政策を考えるために、時々、企業会計の本を読んでいます。その企業会計の中に「のれん」という言葉があります。これは要するに、その企業の技術力や固有のノウハウ、ブランド力などで、企業価値とも言い換えられます。

この「のれん」には、特許・意匠・商標のように、一般的に公表すると価値になるものもありますが、企業秘密とされる部分も含まれます。企業価値を高めていくには、どこまでを公表するか、マネジメントすることが重要です。大きな流れとしては、近年、「のれん」を公表していくことが求められる時代になってきています。

ところで、私たち政治家はどうでしょうか？

私たちは、選挙で市民の皆様から信任を賜り、仕事をさせていただいています。選挙の時に公約を示し、皆様とお約束をし、その約束を成功させるため、4年という時間をいただき、達成を目指します。

引き続き、信任を賜るには、日頃より皆様方と信頼関係を築きながら、政策を多くの方にご賛同いただくことが重要かと認識しております。

この信任を得るというのは、まさに無形の価値であり、企業会計で言うところの「のれん」にあたるのかなと思われます。

「動物愛護条例」で悩んだこと

〈ヒトツキ 令和4年2月 掲載〉

前号の県政報告（令和4年新春号）でご紹介した「動物愛護条例」の途中の過程について、少し触れたいと思います。

きっかけは、「日頃から交流をしている動物愛護団体の皆様からの今のペットの環境、特に一部の劣悪な環境で過ごしているペットをもっと守ることが出来ないか」というご相談でした。

そのためには現行の条例を改正する必要があり、いままでの経緯や海外の事例を調べながら、「動物愛護」について今一度、考えました。

今、世界の大きな問題として、格差の拡大が叫ばれ、社会の分断が危惧されています。

私が今回、取り組んだ根っこの部分には、動物愛護が、他者に寄り添い、優しさと思いやりのある社会を育むことにも繋がり、格差の是正や分断の解消にも活きていくと信じたからです。そして、子を持つ親として、次の世代にもこの想いを共有して欲しいという教育としての大切さも後押ししました。

実は、動物愛護の先進国といわれる英国、スイスやドイツなど欧州では動物の保護に関して日本とは格段に厳しい基準を設けています。例えば、ペットショップは法律で完全許可制、ペットショップで犬や猫の陳列販売を行われていないなど日本とは格段に厳しいルールがあります。

最終的にはそこを目指したい訳ですが、今回の議論の中では、途中、暗礁に乗り上げたこともありました。

悩んだ点は、この改正がペットショップなどへの民業圧迫につながるのではないかという指摘でした。仲間たち執行部とも悩みましたね。膠着状態でした。

そのとき、日ごろから指導を受けている先輩県議から受けた「条例を作る以上は『世界基準』の視野をもって、欧州レベルを目指すべき」という言葉に背中を押され、悩みが一気に吹き飛び、前へ前へと進むことができました。

結果としては、当初の狙いを後退させることなく、その一方で、民業圧迫の心配に応えるため、条例には財政的支援を盛り込みました。業者の皆さんにも、欧州レベルの動物愛護精神をもったブリーダー制度に近づける努力をしていただけるような条例改正となったと思っています。

引き続き、動物たちが安心して安全に過ごすことのできる環境が実現できるよう、取り組んでまいります。

ご利用ください。メニューがリニューアルされました！

埼玉県LINE公式アカウント
埼玉県-新型コロナ対策パーソナルサポート

まずは「友だち登録」から。
新型コロナウイルスに関する情報をお知らせします。

国と県、両方のアプリの活用をお願いします。
両方を使うことで一層の感染拡大防止効果が期待されます。

「場所」に注目！
埼玉県
LINEコロナお知らせシステム
施設やお店などに掲示してあるQRコードを訪問する度にスマートフォンで読み取り、訪問日時を記録。後日、その施設などを訪れた方が陽性となった場合、その方に濃厚接触した可能性のある方に対し、窓口への相談を促すメッセージをLINEでお知らせします。
県感染症対策課　☎048-830-7502

「人」に注目！
厚生労働省
新型コロナウィルス接触確認アプリ（COCOA）
ブルートゥース機能により、スマートフォン同士が近接した状態（概ね1メートル以内で15分以上）を「接触」として検知。アプリに記録。アプリをインストールしていた方が陽性となった場合、陽性の方ご自身がアプリで陽性登録。「接触」記録のある方のアプリにお知らせします。
厚生労働省　☎03-5253-1111(代)
厚生労働省 COCOAサイト▶

ご意見をお寄せ下さい　宇田川ゆきお県政事務所　〒340-0801 埼玉県八潮市八條393　TEL.048-932-4055　FAX.048-934-7099　E-mail.contact@udagawayukio.com

情熱 責任 真摯 覚悟

埼玉県議会議員
宇田川ゆきお
県政報告

令和4年4月29日発行　春号　Vol.18（改訂版）

発行：埼玉県議会自由民主党議員団 宇田川ゆきお県政事務所　〒340-0801 埼玉県八潮市八條393　TEL.048-932-4055　FAX.048-934-7099

巻頭所感

コロナ禍を乗り越え確かな未来へ！

～新しい夢を育み、力を合わせ、実現へ～

中川・綾瀬川に着目してまちづくりを考える…。

心地よい春風に誘われ、川の駅・中川やしおフラワーパークへ行ってきました。残念なことに新型コロナウイルス感染拡大の影響で、例年開催されてきた「花桃まつり」は中止。それでも花桃（八潮市の花）と菜の花の描き出すコントラストは人々の心を癒していました。八潮市観光協会ではお祭りイベントに代わり「花桃ウォーキング」「デジタルスタンプラリー」などを企画し、コロナ禍での市民サービスに取り組んでいました。

会場をゆったり流れる中川を眺めていると、この川は八潮市民の象徴であり、まちづくりの資源だと確信。現代は、トラックや鉄道輸送が物流の主流ですが、歴史的には舟運により地域経済を発展させてきた経緯があります。中川は人々の暮らしの中の大動脈であり、大消費地・東京（江戸）との交易の中核を担うものでした。埼玉県で収穫された農産物を出荷し、帰りには肥料の原材料や日用品などを運んだと伝えられています。時代と共に都市化が進むと、川への対応は治水対策に重点が移されていきますが、地域社会の発展を包括的に見るなら中川・綾瀬川などの河川を軸にした広域的視点でのまちづくりを考える必要があると思います。最近、その重要性をつくづく感じています。

川の歴史を紐解くと広域の視野が開ける…

ところで広域行政の手がかりになるようなイベントが足立区で開催されました。花畑運河開削90周年記念講演会「花畑運河の今昔、そして未来」です。基調講演によると大正10年の調査では中川の船運により埼玉県の農産物を年間4,200トンほど都内に運んでいたことが示され、物流の拠点だったことを説明。さらに利便性を高めるために中川・綾瀬川を結ぶ花畑運河を新規開削し、それが大正8年に施行された都市計画法に基づいた工事であることから、近代の産業遺産に位置付けられているとのことです。

一方で1日に200艘を超える利用者の多くは埼玉県に由来し、船の往来の背景には八潮市をはじめとした中川・綾瀬川コミュニティの存在が伺えます。

【2面に続きます】

八潮市と東京都のネットワークを活かす！
高島なおき都議・自民党都連幹事長と都県境の事業について構想を語りあう

【宇田川ゆきお・経歴】●昭和53年八潮市八條生まれ●八潮市立八條中学校卒業●浦和実業学園高等学校卒業●東京コミュニケーションアート専門学校卒業～音楽の道へ●八潮市議会議員選挙にて初当選●専修大学法学部中退●平成21年、八潮市議会議員選挙にて二期目当選●平成27年、埼玉県議会議員選挙にて初当選●平成31年埼玉県議会議員選挙にて二期目当選●現在:県議会・自然再生・循環社会対策特別副委員長●議会運営副委員長、福祉保険医療委員長など歴任●所属団体:八潮市商工会青年部OB会、八潮市消防団、八條有志クラブ他

www.udagawayukio.com/

八潮の将来、埼玉の未来へ。宇田川ゆきおは走ります。

埼玉県議会令和4年2月定例会は、2月17日から始まり、3月25日に閉会しました。今議会では、2兆2,284億5,900万円の「令和4年度埼玉県一般会計予算」が決定しました。そこで本稿ではその概要をお伝えいたします。

【1面からの続き】

県都境としての八潮の利点を活かす！

さらに、歴史を振り返れば、明治政府によって、武蔵国内の旧幕府領・旗本領の管轄のために、明治2年に小菅県（県庁は現東京拘置所のあたり）が設置された時期もありました。その管轄区域は、足立区・葛飾区・草加市・八潮市などであり、ここでもまさに同根だったわけです。

このようにみてくると、南部を東京都に隣接する八潮市は、歴史的にも、そして、現在のつくばエクスプレスと首都高で結ばれた交通体系からも、東京都との連携が重要だと思われます。

私はそのような視点をもって、八潮市のまちづくりを県・市、そして都とも十分に話し合いながら進めていきたいと思っています。引き続きのご理解をお願いいたします。

埼玉県議会議員　宇田川幸夫

大型予算を採択、2兆2284億5900万円（前年度比5.1%増）

宇田川ゆきおの活動もかたちに…。

令和4年度予算の概要について、その概要をご紹介します。詳細は埼玉県ホームページの令和4年度予算をご覧下さい。

子育て世帯の医療費負担…償還払いから窓口無料化（現物給付）へ

今回の予算でも、宇田川ゆきおが力を入れた分野が着実に事業として実現・拡充しています。

まず、「子育て世代の医療負担の軽減」が実現しました（予算総額93億504万3千円）。これは乳幼児や重度心身障害者、ひとり親家庭などの医療費を助成するとともに、受給対象者のうち未就学児について、県が市町村に補助を行うことで令和4年10月から県内全域での窓口無料化を実施するものです。

これまでは医療機関にかかる際、窓口で支払いをし、その後市町村に、窓口支払い分の申請を行い、払込を受ける償還払いでしたが、窓口での支払いは無しで医療の提供を受けることができるようになります。（医療機関には市町村から支払われます）これにより使い勝手が大幅に向上します。

在宅医療体制の整備…アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の導入

宇田川ゆきおがかねてから主張していた「在宅医療提供体制の整備」も拡充が図られました（予算総額3914万円）。

これにより、人生の最後まで住み慣れた自宅などで療養できるよう在宅医療体制の整備を推進、在宅医療を担う医師の育成や将来の変化に備え、本人・家族・医師などが話し合い、対応するアドバンス・ケア・プランニング（ACP）の普及や在宅緩和ケアを担う人材育成などが進められます。

「犬猫殺処分数ゼロ」も条例化で前進。その他、事業にも引き続き、努力します

先に宇田川ゆきおが仲間たちと実現した条例改正を受けて「『犬猫殺処分数ゼロ』に向けた取組」も予算を確保（予算総額5409万8千円）、事業化されます。

これにより野良猫の不妊・去勢手術費用補助や犬猫の譲渡を一層推進すると共に動物取扱業者への監視指導、動物愛護団体などと連携した収容動物の譲渡推進ミルクボランティア制度の実施、福祉施設などでのアニマルセラピー活動の実施が進みます。

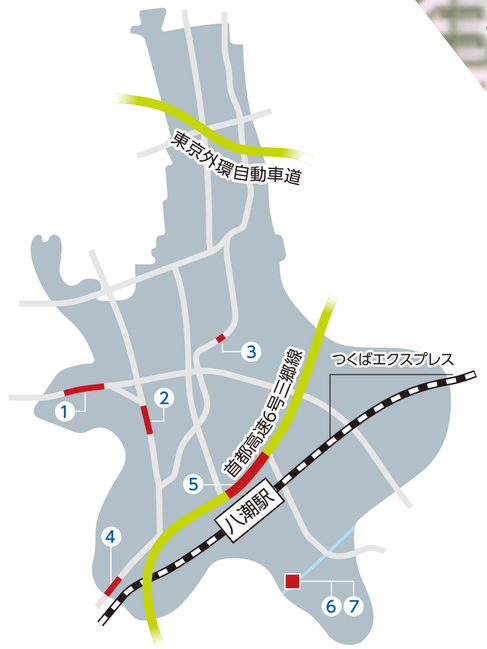
これら以外にも今回の予算には皆様とともに進めてきた、ヤングケアラーへの支援、周産期医療体制の整備、保育士等・放課後児童クラブ支援員等の処遇改善、中小企業の事業再構築等に対する支援なども盛り込まれています。

さらにガソリン価格の高騰について、議会運営委員会でとりまとめ、3月25日、国に提出した対応を要望する意見書を受け、このほど、ガソリンなどの価格を抑えるための石油元売り会社への補助金も1リットルあたり25円から35円に拡充されることになりました。

（八潮市の県事業抜粋は右頁をご覧下さい）

今後も事業の状況を注視し、皆様のご要望が反映されるよう、努力してまいります。

令和4年度予算・八潮の事業



❶街路整備（草加三郷線：西袋工区）

柳之宮橋周辺については、現在仮橋の工事が着々と進んでいます。それに伴い、綾瀬川西側では北側に迂回路が開通されています。今回の予算では、綾瀬川西側南側にも迂回路を開通するための費用の一部として予算がつきました。迂回路開通にともなう、用地買収費用や補修費、また、柳之宮橋の撤去費用の一部に充てられます。柳之宮橋を中心とした、街路整備は、車や人の流れを変え、また八潮が中心となり埼玉東部の主要都市間をグッと近づけるダイナミックな事業です。道路の利便性の向上だけでなく、八潮市が交通の要となるように持前のフットワークで近隣の市と調整しながらよりよいまちづくりを進めてまいります。

❷バリアフリー安全対策（越谷八潮線）

越谷八潮線（いわゆる産業道路）においてはバリアフリー安全対策を行います。この道路は、八潮市内においても交通量が多い、市の要の道路の一つであり、また、店舗が多く、自動車だけなく歩行者や自転車も多い沿線です。特に、店舗だけでなく小学校も近くにあり、人の往来が多いこの箇所について、誰もが安心して安全にさらに円滑に移動できる通行空間となるように、段差のない歩道の整備などを実施します。誰もが安全に安心して暮らせるまちへ向けてバリアフリー対策をしっかりとしてまいります。

❸自転車歩行者道整備（平方東京線）

八潮市役所や八潮中学校、また金融機関等が近く、通学のみならず自転車利用の多いこの箇所について、自転車利用者の安全や歩行者の安全、安心のために自転車歩行者道を整備します。歩行者、自転車、自動車の事故を防ぎ、市民のみなさまの安全を守るために危険な箇所の除去にこれからも取り組んでまいります。

❹❺舗装道路整備（平方東京線・八潮三郷線）

都内から三郷市へ通じるこの道路は流通の要であり、輸送車、トラックの往来の多い道路です。そのため、損傷も早く、道路利用者の方々の安全や安心のためのメンテナンスがより必要なる路線です。しっかりとメンテナンスをし、都内に隣接するまちとして、東京都ともしっかりとタッグを組んで、道路を通じて、「まち」と「ひと」に安全と安心を届けてまいります。

❻❼圷川排水機場耐震整備・河川事業

もう異常気象ということばが、通常使用されるようになって久しく感じます。川に囲まれたまちである八潮市にとって、台風などによる川の増水からまちとひとを守るために、排水機場の耐震整備、河川事業を行います。排水機場の機能が十全に果たされるようにしっかりと対策を行います。